

## 倫理 研究課題 <源流06>

教科書：p      ~      資料集：p      ~      ノートp      ~

### ●ユダヤ教

ユダヤ人の民族宗教。一神教（神：ヤハウェ（エホバ）＝唯一絶対の神。厳格な裁きの神）

聖典：『聖書』（但しいわゆる「旧約聖書」のみ）

ユダヤ人＝苦難の多い民族 ∴選民思想（将来必ず救われる（＝繁栄する）と信じる）

※「救い」＝個人にとっては希望・自信・自立・安定など

ただし救済の条件＝神が命じた法（律法）を厳守すること（守れないと神は罰を与える）

律法＝モーセが神から授かった十戒（1～4戒：宗教規定、5～10戒：一般社会規定）

→神の唯一絶対性、被造物神格化の拒否（≡偶像崇拜の禁止）

しかしユダヤの苦難は続く（例：バビロン捕囚＝バビロニアに拉致される＝など）

∴預言者（神の言葉を預かる者。例：エレミヤ）が民族に警告

「もっと厳格に律法を遵守せよ！ そうすれば救世主（メシア）が現れる！」

→律法が細分化・煩雑化・形式化し、律法が人を苦しめる存在に変質（→安息日の規定）

∴対立 { 律法学者（パリサイ派）：律法を守れる（と思っている）人々（義人）  
庶民たち：律法を守りたくても守りきれない人々（罪人）

→「律法主義」 { ルールを形式的に守らせる（＝形式的に守っていれば良いとする）  
自分がルール違反をしても“知らんぷり”を決め込む  
他人がルール違反をすると厳しく罰する（激しく攻撃する）  
ルール違反を恐れ苦悩する弱者に対して冷淡（無理解）になる

※神義論：「なぜ神は不完全な世を作ったのか？」「なぜ正しい者が不幸になるのか？」  
などの根本的な問題について考える神学の議論（例）イザヤ・エレミヤ

★なぜ「神の像を刻」んだり「神の名を唱え」たりしてはならないのだろうか？

.....  
.....

★現代社会においても「律法主義」と言えるような現象はあるだろうか？

.....  
.....